

信濃川水系学識者会議 第3回上流部会 議事要旨

開催日時：平成24年9月18日（火）13:30～15:30

場 所：長野市生涯学習センター（TOiGO WEST）3階 第1・2学習室

議事次第：1.開会

2.挨拶

3.議事

- ① 第3回全体調整会議の報告について
- ② 信濃川水系河川整備計画骨子について
- ③ 信濃川水系の川づくりアンケート結果概要について
- ④ これまでに頂いたご意見について
- ⑤ 今後の進め方について

4.閉会

○議事要旨

① 第3回全体調整会議の報告について

② 信濃川水系河川整備計画骨子について

(A 委員)

- 河道の維持管理における「高水敷確保による堤防防護」において、堤防を侵食から護るため一定距離の高水敷幅を確保するとあるが、これはどのように定めた距離か。

(事務局)

- 堤防を侵食から護るために必要な高水敷幅を確保するという観点で、計算や一洪水での実績侵食幅等から設定している。

(A 委員)

- 千曲川は流域が広いため、降雨分布を捉える必要があることはわかるが、雨を流量に変換すると精度が落ちる可能性もある。流量データが蓄積されてきたので、雨量確率ではなく、流量で計画するという考え方はしないのか。

(事務局)

- 流量も考慮して計画設定を行っている。

(A 委員)

- 「30年の整備計画」とすると、地域住民は30年後に洪水に対して安全になる、もしくは、今後30年間は安全であると誤解されることも考えられる。想定している規模より大きな洪水が発生する可能性があることや、危険なところもあるということを十分理解していただく必要がある。

(事務局)

- 地域住民が誤解を招かないよう、わかりやすい資料づくりを進めてまいりたい。

(B 委員)

- 中抜け区間の管理については現状のままとなるのか。

(事務局)

- 計画の対象区間は、国土交通大臣管理区間としている。

(部会長)

- この件は、河川整備基本方針検討の際にも議論がなされ、国土交通大臣管理区間を対象に河川整備基本方針が策定された。整備計画は、河川整備基本方針を踏まえた計画となる。

(C 委員)

- 河川環境の整備と保全について、良好な自然環境や景観の保全のほか、『文化財の保全に配慮』というような記載をしていただきたい。

(事務局)

- 骨子 53 ページの『良好な景観の維持・形成』には『周辺の自然環境や流域の歴史・文化・風土や周辺の景観に配慮』と記載している。原案の作成にあたっては、工夫した記載をしてまいりたい。

(D 委員)

- 既設ダムの有効活用について記載していただいていることは大変ありがたいこと。平成 18 年 7 月洪水では利水ダムを含めた上流ダムに貯めていただいたので水位が低下し、長野市としては助かった。既設ダムの有効活用を進めていただきたい。

(事務局)

- 相手があることなので難しい面もあるが、色々な方向から検討を進めてまいりたい。

(A 委員)

- 河川の維持管理に記載のある『地域と連携した河川管理の推進』は好ましいことで、維持管理にも住民が参加しやすいような仕組みをつくるべきである。例えば、河床材料調査や河川横断測量などの調査に住民に参加していただき、河川の変状等を理解してもらい改修の必要性等について認識を深めてもらうような仕組みづくり等について記載はできないか。

(事務局)

- ご意見を踏まえ、工夫した記載をしてまいりたい。

(E 委員)

- 治水はもちろん、動植物の保全、繁殖環境を確保していくことも示されており良い。また、自然再生の目標についても調査研究成果の裏付けがあって示されていることに対し安心した。

(事務局)

- ただ掘削するだけではなく、環境にも良好となるような対策を進めてまいりたい。

③ 信濃川水系の川づくりアンケート結果概要について

④ これまでに頂いたご意見について

(E 委員)

- 『これまでに頂いたご意見』は資料として残すのであれば、しゃべり言葉ではなく、意味が伝わるように修正した方がよい。

(事務局)

- 残す資料と考えている。他の資料も含めわかりやすい表現に修正してまいりたい。また、意見の追加等があれば、千曲川河川事務所まで連絡を頂きたい。

⑤ 今後の進め方について

(D 委員)

- 河川整備計画は地域の期待も大きく、住民懇談会の開催はありがたいこと。こういった計画は合意形成のプロセスが重要であるため、住民懇談会で出た意見等は公表していただきたい。

(事務局)

- 地域住民の意見に対して可能な限り丁寧に回答し、整備計画をまとめてまいりたい。

(F 委員)

- 一般市民がこれだけの文章の骨子を全て読んで理解するのは大変であるため、整備計画で実施することがわかるように一覧表等で示すと理解しやすい。

(事務局)

- 計画策定にあたっては、わかりやすさという点から検討してまいりたい。

(B 委員)

- 大河津分水路の整備をしっかりと進めることで、立ヶ花と戸狩両狭搾部の改修が可能になると考えている。大河津分水路の改修をぜひ進めていただきたい。

—以 上—